

# 教育大運動 1747 推進ニュース

2023年11月8日  
発行：教育大運動  
1747 事務局  
No.3

## 教育大運動スタート！現地レポート！

### ～千葉県船橋市～

局 11月3日（祝）、前号でお知らせした通り、船橋市と高松市で集会が行われました。その内の船橋市で行われた全体集会や、市民の参加した分科会について、レポートします。

「教育と子どもを語るつどい in 船橋」は、全教千葉と船橋市教組主催、船橋市教育委員会後援で船橋市立前原小学校で開催されました。午前中は、名古屋大・内田良さんの講演で、とても考えさせられる内容でした。詳しく説明しませんが、最後に「組合の出番」と言ったことが印象的でした。

午後が教育大運動の本番、分科会「父母・地域との共同」です。この分科会には、保護者や新婦人、PTA 会長さん、学童保育連の代表の方、退職教職員、もちろん現役教職員など、多彩な顔ぶれで30名以上の参加がありました。3時間、発言が途切れることなく、熱心な討論が行われました。以下はその一部です。



- ・以前は中学校区単位で懇談会を行っていた。
- ・授業参観や学級懇談会が減った。参加者が激減している。懇談会に保護者0もある。
- ・学童もそうだが企画に集まれる保護者の余裕がない。要求のない所には人は集まらない。
- ・若い母親が参加する懇談会ではベテラン母が食事を用意し、子どもも一緒に参加してワイワイやっている。子供と教育を語り合える場がほしいとみな思っている。
- ・市川で突然教育委員会が言い出した夏休み短縮、保護者の怒り、教職員との連携、市教委に撤回させる大運動となった。
- ・習志野ではクーラー設置が話題になっている。実現する会を作って活動。SNSも活用。
- ・子どもの声を聞き取る、子どもの声を反映する、子どもが当事者として参加することが大事。
- ・児童会活動やゆめさせたり行事削減で文化祭を縮小したりしようとするのを、子どもたちの声でひっくり返すこと大事にしたい。子どもの声を聴くことで、先生たちが職員会議でしゃべれるようになることが大事。
- ・学童保育のマンモス化、支援員は非正規、最低賃金。民間学童はほぼ塾、メニュー別料金で格差広がる。
- ・1小学校1学童、異年齢集団にできないほど子どもが多い。100人規模もある。なぜ学校を貸さないか。雨の日など大変。体育館を使わせてほしい。
- ・保護者・地域住民を巻き込まないと教職員の働き方は変えられない。PTA 不要論があるが、PTA の力で教育委員会を変えることができる。先生方の働き方を保護者の力で変えることができるはず。
- ・私立から見ると、公立の先生方の働き方は看過できない。「共育」と思っている。組合のアピールの仕方足りない、親の立場にアピールする形にできないか。

教育大運動 1747 が提起する教育懇談会に決まった形はありません。しかし、さまざまな立場の人が集い、子どもと教育を語ることが、地域の教育課題を解決することにつながるようになりました。また、解決しなくても、共に考えることで可能性が広がることも強く感じられました。教育大運動の意義を強く感じる会でした。全教千葉、船橋市教組のみなさん、準備・運営お疲れ様でした。全教教文局として大変勉強になりました。ありがとうございました。（全教教文・波岡知朗）

### ☆いよいよ教育大運動がはじまります！いち早く開催のご連絡をくれたところのご案内！

事務局では各地からの教育懇談会や教育カフェなど、教育大運動の取り組み予定を募集しています。ポータルサイトの立ち上げよりも早くにご連絡いただいた、取り組み予定をお知らせします。

開催自治体	開催場所	日時	集会名	問い合わせ先
埼玉県深谷市	埼玉県立深谷商業高校	11月12日（日） 分科会 13:00～	教育のつどい 2023 埼玉集会	☎ 048 (822) 7421 (埼高教)
山梨県甲府市	ぴゅあ総合	11月25日（土） 全体会 12:50～ 分科会 14:40～	教育のつどい YAMANASHI 2023	☎ 055 (222) 4828 ✉ nashikou@nns.ne.jp (梨高教)